

先輩並ニ官廳ノ方々ノ御配慮ニヨルモノデ、阿里山採集ニ際シテ嘉義營林所出張所ノ方々、又臺北デハ私ノ爲ニ一タノ宴ヲ張ツテ歡迎シテ下サツタ臺北帝大理農學部ノ植物學教室ノ諸先輩、臺南ノ見物ニ便宜ヲ與ヘラレタ庄司氏、溪頭ノ採集デハ東京帝大臺灣演習林ノ職員諸氏、其他色々方面ノ方々ニ非常ニ御厄介ニナツタノデ此處ニ厚ク御禮ヲ述ベル次第デアル。(完)

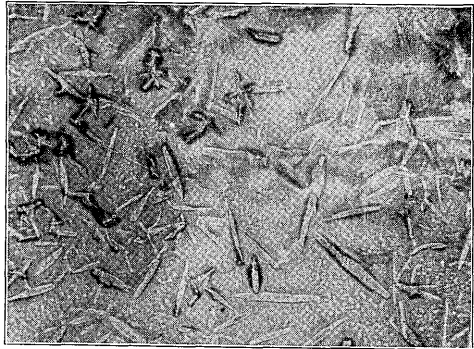
○再びよこぐらのきノ產地ニ就キ述ブ

本誌 XII 卷 p. 140 デよこぐらのきノ北限ノ產地ニ關スル無名氏ノ通信ヲ披露シテ置イタラ。東大農學部森林利用學教室ノ猪熊農學士カラ次ノ様ナ知ラセガアツタカラ茲ニ報告スル。恐ラク福岡ノ無名氏ガ笑フコトダラウ「ヨコグラノキノ產地のことが出てゐましたが、昭和九年三月の「山林」第一六號 p. 132 に同じ個所のヨコグラノキの記事が出てゐます、そして同地に検出した齋藤氏は「牧野博士の鑑定を得てゐると」書いてあります」云々

(久内清孝)

○やどりぎノ果實ニ Inositol ガアル

昭和十年ノ春やどりぎ (*Viscum coloratum* NAKAI var. *lutescens* MIYABE) ノ果實ヲ載物硝子上デ潰シテ、之ニ偶然強酒精ヲ滴下シテ檢鏡シテ居タラ寫眞ノ様ナ結晶ガ澤山出現シタノデ面白クナリ、色々調べ見タラ M. W. ONSLOW 氏ノ Plant Biochemistry p. 120 = Inositol is widely distributed in plants, It has been isolated from leaves of the Walnut (*Juglans regia*), fruit of the Mistletoe (*Viscum album*) Inositol is soluble in water but crystallizes out on adding strong alcohol. ト書イデアツタ。從ツテ西洋やどりぎニモ邦産ノモノニモ之ガアル



コトガ判ツタ、依テ之ハ demonstration 用トシテヨイ材料ダト思ツタガ西洋ノやどりぎト日本ノモノトハ兎ニ角區別サレテ居ルノデ此ノ事ヲ藥學士野々村進氏は依頼シテ檢討シテ貰ツタラ普通ノやどりぎニモあかみのやどりぎ (*V. coloratum* var. *rubro-aurantiacum* MIYABE) ニモ其存在スル事が判明シタ。オカガデ洋ノ東西ヲ問ハズやどりぎノ果實中ニハ容易ニ檢出シ得ルいのじつとガアル事ニナツタ。冬ノ室内ノ顯微鏡遊ビノ話題トシテ報ジテオク。(久内清孝)

○あんにんノ鹽漬ケ

余ハ昨年ノ正月、友人デ越後ノ産デアル某氏カラ越後ノ長岡デハあんにんト云フ果實ヲ



あんになかう(杏仁香)ト稱スルうはみづ
ざぐら果實ノ瓶詰
Fruits of Prunus Grayana MAXIM.
preserved for sale for the purpose
of "Hors d'œuvre."

食用ニスル由ヲキ、心平ラカナラズ、イツカ
ハ其正體ヲ見届ケ吳レント私ニ期シテ居タ
處、本年スキー修業ニ湯澤ニ行ツタ井深勝美
氏カラ其あんになかう(杏仁香)ノ瓶詰ヲ貰ツ

タ。ヨク見ルト之うはみづざぐらノ果實ガ花序ニ着イタマ、ノモノデアツ
テ、牧野博士ガ本誌 VII 卷 2 號 p. 64 デ「食用トシテノうはみづざぐら」(斷
枝片葉其四十四)ナル見出シデ書カレタモノデ、牧野先生ガ「長岡デまん^{にん}ト呼ブトノコト
デアルト述ベラレタノハ宜シクあん^{にん}ト訂正スベキモノデアル事ガ判ツタ。然シテ此ノ
事實ハ當時牧野先生モ述ベラレタ通り、伊藤圭介博士ノ「日本產物志」山城ノ部下卷ニモ出
テ居ルガ、寧ロ怡顏齋「櫻品」犬櫻ノ條下ノ「犬櫻ノ實六月に熟ス其色黃にして味ひ杏仁に
似たり好事のもの鹽藏にして酒ヲ茗料となす諸々山中に多し」ニ淵源スルモノデアルト
考ヘル。怡顏齋モ伊藤圭介氏モいぬざぐらトうはみづざぐらトヲ混同シテ居タガ「櫻品」ノ
圖ハ明カニうはみづざぐらデアルコトハ云フ迄モナイ。

余ノ入手シタ鹽藏品ハ、證據ハ不充分デアルガうはみづざぐらデアル事ハ云フ迄モナイカ
ラ、ヤハリ、あん^{にん}ノ正體うはみづざぐらノ未熟ノ果實デアル事ガ明カニナツタ、依テ
之ヲ上口ノ方ニ、イヤ、江湖ニ報ズ。
(久内清孝)

○あづまがやノ根出葉

あづまがや (*Hystrix longearistata* HONDA) ノ事ニ就テハ本誌 VII 卷 2 號 p. 53 デ述べ
タガ本年ヨク見ルト其根出葉トデモ云ハウカ、最下葉ハ極メテ多毛デアル事實ヲ知ツタ。

(久内清孝)

○江原道ノいちじくニ就イテ

地中海沿岸地方ノ原産デアルいちじく (*Ficus Carica* LINNÉ) ハ朝鮮ノ南ノ溫暖ナル地方
ニ於イテモ栽植セラレ、森爲三氏ノ朝鮮植物名彙 (1922) ニハ日本海ニ面スル慶尙北道江口
ニ、石戸谷勉氏ノ朝鮮森林樹木鑑要 (1923) ニハ全羅南道濟州島ニソノ栽培品ノアルコトラ
記サレタル。筆者ハ昨年ノ暮カラ今年ノ正月ノ初ニ亘ツテ、慶尙北道浦項カラ江原道ノ東
海岸地方ヲ行脚シテ、圖ラズモいちじくノ栽培ハ江口ヨリモ更ニ北ノ方マデ及ンデキルコト
ヲ知ツタカラ此處ニ報ジテオク。

即チ江原道ノ南ノ蔚珍郡蔚珍^{ウルチン}ノ八木彦一氏宅ノ裏庭ニハ立派ないちじクガ 2 株アツテ何
レモ地面カラ 6 本ノ枝ガ出テタルガ、ソノ枝ノ太イノハ周圍ガ地上 50 cm ノ所デ甲株ハ 15
cm 乙株ハ 13 cm アル。コレハ誰ガ何時植エタカ明カデナイガ、土地ノ人々ノ語ルトコロニ
據ルト 10 年以上ハ經ツテキル由デ、毎年立派ニ結實シ知人ニ分チ賞味サレテキル程デ、福
舎小學校長ノ如キハ年ニ 3.40 ヲ戴クト言フテキタ。尙蔚珍デハ面事務所ノ前ニモ 1 株アル
ガ、コレハ近頃此處ヨリモ南ニ位スル同郡箕城面ノ面事務所ニ栽植サレテタル物カラ取木シ
テ移植シタモノデアル。

キツウウメン

コノ箕城面ノいちじクハ筆者ハ未ダ見テキナイガ、其處ノ普通學校長大山幸寛氏ニ依頼シ